

(株)地域振興公社事業報告

熊谷 富太郎 議員

労働分配率の数値が高いが、役員報酬等をカットする予定はないか。

まちづくり推進課長 今年4月の定期昇給は、苦渋の決断で停止している。賞与については取締役会の判断となっている。町長 4期連続赤字というところで、賞与はないものと思っ取り組むよう指示している。新型コロナウイルスで苦戦しているが、新社長が就任したことで赤字体質が変わることを期待している。

岡崎 英和 議員

近隣施設も苦境の中、新社長には、よそ者の立場を遺憾なく発揮してほしい。副町長 他の施設にはない強みをしっかり把握することが大切。社長やトップだけが考えるのではなく社員一人ひとりが目標を持って実行していく組織にしていきたい。

小玉 勇 議員

副町長が社長になっていくが、充て職で赤字体質改革ができるのか。

町長 これまでは根底から経営者としての意識が無いと言わざるを得ない。社長も代わり、外部のコンサルタントにもお願いしている。今しばらく見守って頂きたい。副町長 赤字体質から抜け出せないのは、公社を取り巻く状況の変化に対応できなかったことが原因と考える。

よそ者の視点でどう対応しなければならぬのか見極めていきたい。



ねこバスも待ってるにゃ～

遠藤 宏司 議員

副町長が社長に就任したが、4期連続赤字をどう考えるか。

副町長 公社の経営は大変厳しい状況であると認識している。社員一人ひとりが課題を把握し、解決していくことが大事。組織が上手くいくようコンサルタントの指導を頂きながら、赤字体質からの脱却を自ら考える組織にしていきたい。



新体制でスタート！（あつたまりランド深堀）

一般会計（全員賛成）



今は見やすくなっています

町ポータルページ管理

岡崎 英和 議員

町のトップページに「新型コロナウイルス対策関連」のボタンがあるが「離れて暮らす学生のふるさと便申請」の記事が探せない。閲覧しやすい総括的な管理が必要。



探せない！

がんばっべ！ あつたまり！ みんなで温泉に行こう！



みんなで湯さ入り～きてけるにゃ～

高齢者健康増進助成金

齋藤 公一 議員

入浴券を高齢者にだけでなく町民全員に配った方がいいのでは。あつたまりランドでのコロナ対策は万全か。

副町長 自粛生活で最も健康被害の懸念があった高齢者へ配布する。コロナ対策は県の警戒レベルに合わせ、ガイドラインに沿って対応している。

コロナ対策臨時交付金

大山 二郎 議員

この交付金はコロナ対策に使用する交付金なのに、なぜ駅都市施設の大幅改修に使うのか。

町長 まずは生活支援や困っている事業者に支援している。また新しい生活様式に対する支援をやってきた。これからも続けていく。駅都市施設に関してはインバウンドで月3000人が利用している。3密を防ぎ新しい生活様式のための改修。トイレも真冬に外に出ないような施設に改修していきたい。

村形 昌一 議員

今回のコロナ対策支援で大石田町の目玉はこれだという政策は何か。町長 「大石田町そばの里」ということで、そばの仕入れ価格に対し、半額程度を補助することにしている。

IGAスクール構想

今野 雅信 議員

小中学生全員にタブレットが行きわたるが、リモート授業になった場合、全ての先生方が対応できるように、どのように指導していくのか。外部からの専門家を活用する考えは。

教育長 各学校に堪能な先生がいる。また、視聴覚教育センターから指導に来てもらうことも考えている。専門家からの研修は校長と連携して検討していきたい。

ガイドレール設置

二藤部 冬馬 議員

事故を受けての設置。他にも町内には危険な箇所があるが、対応は。町長 危険な箇所は改修していかねばならない。優先順位をしっかりと見極めて対応したい。

特別定額給付金

遠藤 宏司 議員

大石田町の給付は早く対応できたが、全員申請になるよう最後までやるのか。まちづくり推進課長 現在の申請率は93.9%。申請がまだの世帯は把握している。特段の事情があれば対応できるようにしている。

就学援助の子ども

小玉 勇 議員

休校で学校給食のない時に、昼食代を出す考えは。町長 どうしても困って

国民健康保険特別会計

遠藤 宏司 議員

町民の負担が減るが。町長 町民がしっかりと経済活動ができる町にしながら、負担を減らしていきたい。

農業委員会委員任命

村形 昌一 議員

選挙制から任命制に変わって良かった点。町長 地域のかたよりなく総会や改善組合等で意見を聞くことができ、うまく回っている。

岡崎 英和 議員

先を見据え若い世代の意見も取り組めるような組織づくりを。町長 若い担い手も出てきている。負担をカバーしながら、バランスよく繋がって行くことを願う。